



2017年10月4日

プレスリリース
報道関係者各位

株式会社イオンファンタジー
GREE株式会社

**イオンファンタジーとGREE、
世界初アミューズメント施設専用 子ども向け VR ゲーム 3 機種を開発
「未来をあそぼ。ファンタジープロジェクト」始動**

株式会社イオンファンタジー（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：片岡尚、以下「イオンファンタジー」）とGREE株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：田中良和、以下「GREE」）は、世界初（※）のアミューズメント施設専用子ども向け VR ゲーム 3 機種を開発し、2018年に日本と中国のモーリーファンタジー300店舗（日本200店舗、中国100店舗）で展開することをお知らせします。

未来をあそぼ。ファンタジープロジェクト

presented by Aeon Fantasy・GREE

イオンファンタジーとGREEは、「子どもも遊べて笑顔になれるVR」をテーマに

「未来をあそぼ。ファンタジープロジェクト」を立ち上げました。

世界中の子どもたちが楽しめる先進的なゲームを、

モーリーファンタジーから世界へと発信していきます。



※子ども向けの単眼ヘッドマウントディスプレイを採用したアミューズメント施設専用筐体としては世界初の製品となります。（特許出願中）



■本 VR 機器の特徴

・子どもも VR で遊べるオリジナル単眼 HMD (ヘッドマウントディスプレイ) 「VR メット」を 新規開発

現在一般的に普及している複眼の HMD は、子どもの目の発達に影響を与える可能性があると考えられており、各メーカーなどの自主的な規定で 13 歳未満の子どもの利用に制限があります。この課題を解決すべく、今回のプロジェクトでは 13 歳未満の子どもも VR で遊ぶことが可能なオリジナル単眼 HMD 「VR メット」を独自開発しました。

「VR メット」は、複眼 HMD の没入感はそのままだに、ミラーを利用した機構でモニターと目の距離を確保し、従来の単眼 HMD よりも目が疲れにくい構造となっています。また、子どもが簡単にかぶれるヘルメットの形を採用しました。(※特許出願中)

「VR メット」は、今回開発した 3 機種のうち「VR びっくり!スライダー」「VR どっかん!ブロック」の 2 機種に搭載しています。

・低コストオペレーションを実現

これまでの VR アミューズメント施設では HMD の装着やお客さまの動きを誘導するオペレーターが必要でしたが、HMD やモニター、体感型の椅子が一体となった筐体を開発することで、オペレーター不要のアミューズメント VR 機の実現を目指します。

また、筐体に直接コインを投入してプレイする都度課金を導入し、課題であったオペレーションコストを大幅に削減することで、1 プレイ数百円での利用を目指しており、より手軽な VR 体験の機会を提供していきます。



■VR ゲーム 3 機種概要

- ・子ども向け VR ゲーム 「VR ぶっとび! バズーカ」

(2018 年春 登場予定)

- ・子ども向け VR ゲーム 「VR どっかん! ブロック」

(2018 年春 登場予定)

- ・子ども向け VR ゲーム 「VR びっくり! スライダー」

(2018 年夏 登場予定)



▲VR ぶっとび! バズーカ

GREE および GREE ロゴは、グリー株式会社の登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

以上

[本リリースに関するお問い合わせ先]

グリー株式会社 広報担当

東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

E-mail: jp-pr@gree.net

URL: <http://corp.gree.net/jp/ja/>

Twitter: @GREE_pr_jp

株式会社イオンファンタジー 広報・IR室

千葉県千葉市美浜区中瀬 1 丁目 6 番地エム・ベイポイント 8 階

TEL : 043-212-6188

URL: <https://www.fantasy.co.jp/>